



物価高騰の影響で 全体的に不安高まる

令和6年4～6月 中小企業景況調査 結果報告書

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

令和6年4～6月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率55.5%

【主要な表現について】

○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断。

○DI値：(増加・好転と回答した割合) - (減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

管内全産業の業況

業況判断の動向(表1)：全産業での業況は、DI値▲20.2で前回(2024年1月～3月)より▲13.9ポイント減少しました。

卸売業前回4.8ポイントから▲26.3ポイントに減少しました。また小売業前回▲26.1ポイントから▲16.7ポイントに増加しました。

全産業売上高の推移：前回▲7.3ポイント(2024年1月～3月)から▲5.3ポイント減少しました。

卸売業23ポイント改善傾向を示しました。

全産業資金繰りの動向：前回▲0.9ポイント(2024年1月～3月)から▲10.1ポイント減少しました。

卸売業5.3ポイント改善傾向を示しました。

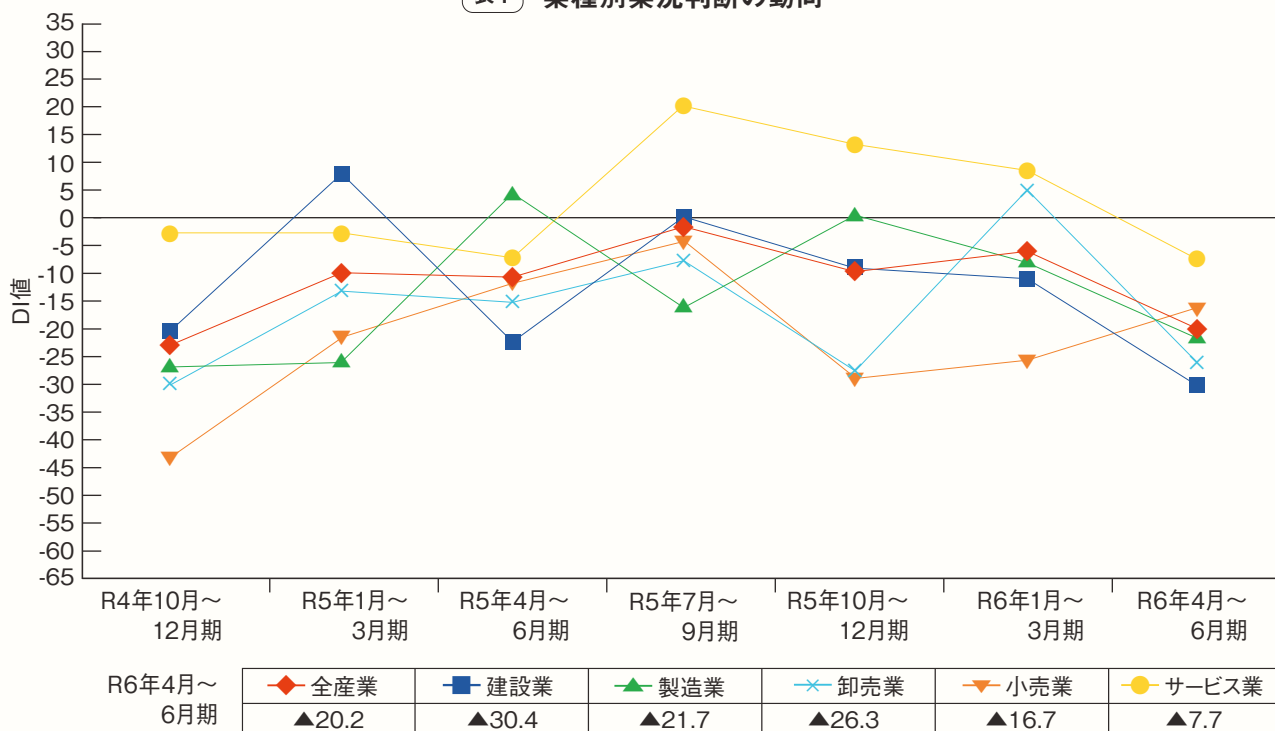
全産業採算の動向：前回▲18.2ポイント(2024年1月～3月)から▲5.9ポイント減少しました。

全産業足踏み状態を示しました。

全産業雇用人員の動向：前回▲7.7ポイント(2024年1月～3月)から11.6ポイント増加しました。

建設業で人手不足感を感じたが、他業種は改善傾向にあります。

表1 業種別業況判断の動向



問合せ先 藤枝商工会議所 経営支援課 TEL: 054-641-2000